

～欣浄寺法語メール～2016年11月～

鎌倉の建長寺を訪ねました。11年前開催された愛知万博パキスタン館に展示されていた釈迦苦行像が寄贈されたお寺です。ガンダーラに伝わるその像は世界の宝とも称賛されるパキスタンの国宝で、国外に持ち出すことが禁止されています。そこで、万博のため特別にレプリカ（複製）がつけられたのです。イスラム教を国教としているパキスタンでは、宗教的な偶像をつくり飾ることが制限されています。感銘を受けたのはルールに目をつぶってでも釈迦苦行像を製作し、万博を訪れる多くの仏教徒に拝んでもらいたいと勇断してくださった方々のことです。29才で出家し6年間修行と断食の日々を送られたそのお姿は11年前の強烈な印象と変わらずまさ

に苦行像そのもので、信仰を異にする人々の心をも揺さぶる意志と情熱があふれていました。

お釈迦様を「如来所以興出世 唯説弥陀本願海」（釈迦如来様がこの世にお出ましになったのは、ただただ海のように広い本願の世界を説くためであった）とたたえられた親鸞聖人の報恩講を今年も今月25日26日の両日迎えます。お釈迦様への追慕を込めてお正信偈をお勤めしましょう。また、二日目のお昼には女人講の皆さまがご用意くださいます「ごんじょう寺大根」のお齋（とき）がございます。どうぞ、お誘い合わせ、お参りください。